

五団体スキルアップ研修

～ 子どもと育む信頼と絆 ～

日時

平成28年10月1日(土)

午後1時～4時(開場 午後0時半)

場所

ワンテン庁舎 2F交流室A・B 気仙沼市八日町1-1-1



司会・進行：持丸 由紀子 (もちまる ゆきこ) 氏
東京都立北療育医療センター指導課 課長代理・指導担当 臨床心理士)

講演

- 『子どもと育む信頼と絆』 午後1時～1時50分

講師：作田 亮一 (さくた りょういち) 氏
(獨協医科大学越谷病院 子どものこころ診療センター長・教授)

- 『信頼と絆を育む音楽活動—その視点と工夫』 午後1時50分～2時40分

講師：鈴木 涼子 (すずき りょうこ) 氏
(獨協医科大学越谷病院 子どものこころ診療センター 音楽療法士)

ディスカッション

- 『発達障がい児の信頼と絆を育む』 午後2時50分～4時

コメンテーター：野田 弘一 (のだ こういち) 氏 (NPO 法人 CE センター理事長)
浅川 和行 (あさかわ かずゆき) 氏 (八王子市教育支援課就学相談員)
菅原 康宏 (すがわら やすひろ) 氏 (東京都健康長寿医療センター研究所)

※ 申込み締め切り：平成28年9月29日(木)まで

《申込み・お問い合わせ》

気仙沼市保健福祉部子ども家庭課児童福祉係 及川、遠藤
電話 0226-22-3429 (直通)



主催：「気仙沼支援 医療・福祉関係5団体」
共催：気仙沼市、一般社団法人気仙沼市医師会、気仙沼地区地域医療委員会、気仙沼歯科医師会、
気仙沼市社会福祉協議会、気仙沼介護サービス法人連絡協議会

▶作田 亮一 氏（獨協医科大学越谷病院 子どものこころ診療センター長・教授）

昭和 57 年日本大学医学部卒。日本大学板橋病院小児科で小児神経学を学び、平成 3 年国立精神・神経センター神経研究所研究員を経て、平成 5 年獨協医科大学越谷病院小児科講師。平成 13 年トロント小児病院神経病理学リサーチフェロー。平成 21 年獨協医科大学越谷病院小児科・子どものこころ診療センター教授。

専門領域：小児神経学、小児心身症、発達障害（自閉症、AD/HD など）、神経・筋疾患。

主な所属学会：日本小児科学会（専門医、代議員）、日本小児神経学会（専門医、評議員）、日本小児心身医学会（理事）、日本発達神経科学学会（理事長）、日本ミトコンドリア学会（評議員）など。

著書：音楽で育てよう 子どものコミュニケーション・スキル（監修）春秋社、子どものこころ医療ネットワーク in 埼玉（監修）批評社、他

▶鈴木 涼子 氏（獨協医科大学越谷病院子どものこころ診療センター、認定音楽療法士）

都立芸術高校音楽学科ピアノコース在学中に音楽療法を知り、音楽療法を学べる日本大学芸術学部音楽学科音楽教育コースへ進学、卒業。日本大学大学院芸術学研究科博士前期課程・後期課程修了。芸術学博士。日本音楽療法学会認定音楽療法士。

大学 1 年生より、障害児者に関わるボランティア活動を開始、大学 4 年生より、日本大学医学部附属板橋病院小児科にて発達障害児への音楽療法を開始。大学講師を経て現職。

専門は発達障害児に対する音楽療法。「ひらかれた音楽療法」を理想とし、音楽療法の実践、研究、発信を続けている。

著書：音楽で育てよう 子どものコミュニケーション・スキル 春秋社、2011、共著

音楽療法を知る-その理論と技法- 杏林書院、2014、共著

▶持丸 由紀子 氏（東京都立北療育医療センター指導課 課長代理 指導担当・臨床心理士）

1994 年筑波大学第二学群人間学類卒業。同年東京都に入職し、精神薄弱児入所施設、児童相談所などで勤務する。

東京都児童相談センター及び墨田児童相談所（現・江東児童相談所）にて、児童養護施設職員へのペアレントトレーニング、被虐待児の家族再統合を目指した親子グループ、母グループの運営に携わる。

2009 年、筑波大学大学院教育研究科カウンセリング専攻（修士）修了。

東京都北療育医療センター指導科主任技術員。

東京都北療育医療センター指導課 課長代理（指導担当）。

東京都心理職として、知的障害児・者入所施設、児童相談所、療育施設等に勤務。様々な臨床領域において、お互いうまくいかない親子や、施設職員&入所児・者を対象に、個人面接やグループ面接、ペアレントトレーニングなどに取り組んできた。現在、東京都北療育医療センター指導課課長代理。

▶野田 弘一 氏（特定非営利活動法人 CE センター（NPO Child-rearing & Education support Center）、スクールサイコロジスト）

特定非営利活動法人 CE センターは、不登校や軽度発達障害を抱える子供たちとその家族ならびに子育て・教育関連機関に対して、各種相談や社会的自立に向けた援助等の支援、講演会・研修会等の普及・啓発などの支援事業をおこなうことを通して、日常の場ですべての子供たちがそれぞれ必要な援助をうけられる子育て・教育システムの実現に寄与することを目的として設立された。

代表を務める野田弘一氏は、1962 年生まれ、秋田市出身。2005 年不登校や発達障害で困難を抱える子どもたちとその家族の支援を目的に、特定非営利活動法人 CE センターを設立。心理・発達相談や社会的自立に向けた教育・療育などの支援活動をおこなっている。また、従来の態度・規範意識や精神論・観念論ではなく、エビデンスに基づいた保育と教育実践を支援するため、全国の保育園・幼稚園・小中学校を訪問。通常学級での認知的な偏りに配慮した授業を想定した初めての教科書、『みんなと学ぶ算数（学校図書）』の教科書ならびに指導書の執筆者。

▶浅川 和行 氏（東京都八王子市教育支援課就学相談員）

玉川大学教育学部卒。東京都の教員として、「通常級」を 10 年ほど担任し、その後、杉並、昭島、八王子の地域で「特別支援学級」を、その間に「七生特別支援学校（当時は養護学校）」も経験し、都合 30 年あまり障害児教育に携わってきたベテラン教師。発達障害児の地域連携でもご活躍。昨年度までは、東京都八王子市立第五小学校特別支援学級「みどり学級」教諭、「特別支援教育コーディネーター」。今年の 4 月 1 日から、八王子市教育支援課就学相談員として八王子市教育相談センターに勤務。

震災後の 8 月から、児童福祉施設等のお手伝いやスキルアップ研修講師として、度々気仙沼を訪れているパワフルな先生

▶菅原 康宏 氏（東京都健康長寿医療センターリハビリテーション科、東京都健康長寿医療センター研究所「福祉と生活ケア研究チーム」）

平成 23 年 3 月東京都を中途退職。退職後の 2 年間は、医療法人社団つくしんぼ会に所属しながら被災地のボランティア。

現在、東京都健康長寿医療センターリハビリテーション科及び東京都健康長寿医療センター研究所に在籍。

「気仙沼支援 医療・福祉関係 5 団体」事務長。

障がい者施設、老人医療センター、東京都児童相談センター、都立小児病院などで多彩な職務経験あり。

現所属学会は、日本老年行動科学会、日本公衆衛生学会。

